

トータル保険だより

2019年6月号



(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

《発行元》

有限会社トータル保険

令和 1年6月1日 第278号

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田69-28

TEL:0235-25-1315 FAX:0235-25-1064

URL: <http://total-hoken.net/>

当たり前前に感謝

私(63)が初めて献血をしたのは、大学1年生の秋でした。当時、友人の父親が緊急手術を行うことになり、輸血が必要になったためでした。以来友人に誘われて何度か献血をしたことがありましたが、自分から積極的にしたことはありませんでした。そんな私が進んで献血に協力するようになったのは、父の病氣治療がきっかけでした。私が36歳の時、父は肝硬変を患い、1年近く入院した後亡くなりましたが、亡くなる数か月前は、吐血と下血を繰り返して、その都度輸血してもらい命をつないで頂きました。父が亡くなるまでに、どれほどの量の輸血をしてもらったのか、正確には分かりませんが、私は献血をしてくださった方々に、お礼を言いたい気持ちでいっぱいでした。それ以来、私は年に2度、職場に献血車が来るたびに率先して献血を申し出るようになり、20年間続けてきました。ところが、5年前のある日、献血前に行く血液検査で、ヘモグロビン濃度が足りないといい検査結果が出るようになりました。私は、それまで大きな病

気をしたこともなく、健康だけが取りえだと思いついていたので、とてもショックを受けました。半年前までは献血できたのに。原因は食生活にあったようで、「鉄分のある物を取ってください」と言われました。40歳から単身赴任だった私の普段の食事は、仕事などで時間に追われておろそかになっていて、バランスの取れた食事を頂けるのは、週末に実家に帰った時ぐらいでした。60歳となった私は定年を迎え、実家に戻り家族と共に生活することになりました。1年半後、市役所に献血車が来ると聞いた私は久しぶりに献血に行ってみることにしました。血液検査の結果、ヘモグロビンの数値は正常に戻っており、数年ぶりに献血することができたのです。実家に戻って1年半、時々妻に対し、好みの味付けを言い言ってしまうことがありましたが、採血している最中には、妻が毎日作ってくれる3度の食事のおかげで、元のように献血ができる体に戻ったことへの、感謝の思いが湧いてきました。献血ができなくなったことで、毎日健康で過ごせること、そして毎日食事が頂けること、それまで当たり前だと思っていたことが、決して当たり前のことではないのだと気づくことができました。



保険のあなご

とんでもない相談が・・・

先日、奥さんが仕事をするようになったので自動車を増車することになり自動車保険の相談で来店されました。他社の証券を拝見したところ、年齢条件が26歳以上となっていました。年下の奥さんは24歳です。万一事故を起こされたとしても対象外の契約となっています。このことを知らずに奥さんは運転を続けていたと言います。

このことをご夫婦に話したところ、大変驚いた様子でした。保険は入っているから大丈夫と思っていたと言っていますが、すぐに電話をしてもらい変更して頂きました。何故このようになっていたのでしょうか？



社内の出来事

★お誕生会開催(孟宗汁会)

今年度2回目のお誕生会開催!!

5月は大川社長のお誕生月、おめでとうございます。

今回は、湯田川孟宗を食材に孟宗汁会としました。いつもは会議をする場所(会議室)が宴会場になり、あれだけ用意した飲み物は完食ならぬ完飲!空き缶と空き瓶の量がすごい! (笑)

旬の食材に「おかわり〜」美味しく、美味しく頂きました。これからも



◆営業時間

朝9時から夜7時まで

ニュース

相続診断協会共催のセミナーに参加し学習してきました。特に資産家の現状は放置できない問題が山積!「財産(お金)管理の不安を解決」していく、相続・家族信託に特化したセミナーでした。



サラリーマン川柳

日本全国四七、五五九句の中から選ばれた優秀100句。第31回サラ川を彩る傑作の数々をご紹介します。今回は5作を紹介します。

- ① 間違えた! 上司ヘライン 「愛してる」
- ② パパ来てよ 必要だったの 指紋だけ
- ③ 妻いない この日は朝から プレミアム
- ④ 小腹すき ダンナに言えば 小腹どこ?
- ⑤ 封筒の 厚みでわかる 再検査



情報カフェ



お金の面からセカンドライフをみると!

セカンドライフの経済問題を考えると、夫婦の年金額はじめ、自身や配偶者など家族の財産を把握しておくことは重要です。60歳から100歳まで夫婦2人の日常生活費は毎月22万円かかるといわれています。40年間では1億560万円になります。厚生労働省発表のモデルケースの年金額が夫婦合わせて約22万円ですからちょうど日常生活費の金額です。

ある調査によれば、ゆとりある日常生活費は34万9000円となっています。40年間では1億6752万円になります。そのため、ゆとりのための上乗せ額約13万円があると老後は安泰です。つまり、60歳から100歳まで40年間で6192万円の上乗せ額になります。



公的保険アドバイザー 大川 淳